

## 第2号議案 令和8年度事業計画について

### 1. 家畜の登記、登録頭数及び会員数

家畜改良増殖法により承認された各種畜の登録規程に基づき、次のとおり登記、登録を行う。

登記登録頭数及び会員数				
種 畜	登録登記の種類	令和8年度	前年度	増 △ 減
乳 牛	血統登録	250	250	0
	移動証明	110	110	0
和 牛	高等登録	120	120	0
	本原登録	1,100	1,100	0
	基本登録	1,600	1,600	0
	子牛登記	25,000	25,000	0
	血統証明	200	200	0
種 豚	種豚登録	25	25	0
	子豚登記	100	100	0
山 羊	産子登録	40	40	0
	合 計	28,545	28,545	0
会 員	乳牛会員	30	30	0
	和牛会員	2,300	2,300	0
	種豚会員	10	10	0
	種馬山羊会員	200	200	0
	団体賛助会員	2	2	0
	合 計	2,542	2,542	0

### 2. 家畜改良振興事業

#### 1) 肉用牛の家畜審査講習会

畜産共進会の審査技術の向上及び地方審査委員の資格取得を目的として、家畜審査講習会を年2回開催します。

令和8年 7月上旬・・・体型測定や和牛の見方の基本講習会

令和8年10月中旬・・・地方審査委員の資格取得を目的とした巡回講習会

- 2) 沖縄県主催の家畜人工授精師(牛)養成講習会における家畜審査の科目の講義等を担当し、生産現場における家畜審査に関わる人材育成を行います。  
令和8年 8月上旬・・・家畜人工授精養成講習会
  - 3) 沖縄県農業大学校における家畜育種講座の中で、家畜の改良の講義を担当し、農林高校では家畜審査講習会の審査委員を担当し、後継者育成を支援します。  
令和8年 4～5月・・・家畜育種講座6回  
令和8年 6月下旬・・・農林高校生家畜審査競技会
  - 4) 和牛改良組合、市町村、北部・中部・南部・宮古・八重山の各地区及び県共進会への審査委員を派遣し、農家指導を行います。
  - 5) 和牛生産農家に対して、沖縄県種雄牛を活用した交配シミュレーションや繁殖成績、子牛死亡牛リストなどを配布して農家指導を行います。
  - 6) 各和牛改良組合に対して、生産性の高い雌牛集団を構築するため高等登録の受審促進を行います。
  - 7) 和牛改良組合連絡協議会、沖縄県家畜人工授精師協会、沖縄県種雄牛精液利用促進協議会の任意団体に対し円滑な事業を推進させるため積極的に支援を行います。
  - 8) 県内の乳用牛の生産性向上のためホルスタイン登録協会と連携し、体型データの収集と評価を行い、乳用牛の改良を促進させるような指導を行います。  
令和8年 7月・・・・・・第1回体型調査  
令和9年 1月・・・・・・第2回体型調査
  - 9) 沖縄県が取り組んでいる在来豚アグーのゲノム解析を活用し、指定生産農場と連携しながらアグー豚登録推進させアグー種豚の増頭に取り組みます。
  - 10) 山羊対策として「出生確認書」を本会にて発行できるシステムを構築したことから、確認書の即時発行を行います。また、現場のニーズにあった大型山羊への改良指導を行います。
3. 全国和牛能力共進会出品対策事業  
第13回全国和牛能力共進会に向けて各組織や和牛改良組合、農林高校と連携して、第13回全国和牛能力共進会出品候補牛の出生状況確認や体型審査等を通して出品候補牛の選抜を行います。併せて2ヶ月に1回のペースで肥育農家趣いて全共候補牛の体測とビタミン検査を実施して、第13回全共に向けて最終選抜に取り組みます。
  4. 家畜人工授精用精液取扱事業  
一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センターの家畜人工授精用精液を県内で開設している家畜人工授精センターや人工授精師へ供給します。
  5. 繁殖雌牛改良促進事業（沖縄県）  
母集団のレベル向上を図るとともに、沖縄県の特徴のある種雄牛造成に寄与するため、関係機関と連携し、いち早く直検定候補牛が選抜できるように取り組みます。  
また、県内各改良組合において、地域の母牛集団のレベル向上や、地域の問題点を課題として取り上げるとともに、飼養管理技術の向上するための研修会を下記の地区で実施いたします。  
○宮古地区, 石垣地区・・・・・・・・・・・・ 令和8年10月  
○伊江地区, 北部地区, 中南部地区・・・・・・ 令和8年12月
  6. 沖縄県有種雄牛凍結精液利用推進事業（沖縄県）  
沖縄県全地域に対して、県種雄牛のPR及び利用促進を促し、生産農家に県種雄牛の能力の高さと次世代の若雄種雄牛の指定交配等を推進させ、沖縄県の特徴ある優良繁殖雌牛づくりに寄与します。

7. 地域の特色ある肉用牛振興推進事業（全国肉用牛基金協会）

離島地域において、現状における繁殖能力及び産肉性等について調査分析し、繁殖雌牛の体型比較検討会及び研修会を行いながら、今後の地域の改良の方向性や個々の農家の育種価、分娩間隔の改善点などの指導を行います。

令和8年10月・・・栗国村繁殖雌牛検討会

令和8年11月・・・与那国町繁殖雌牛検討会

令和9年 1月・・・竹富町黒島繁殖雌牛検討会

8. 県産肥育牛ブランド強化事業（沖縄県）

沖縄県畜産研究センターの若雄種雄牛能力の早期発掘と県内肥育農家の技術向上を目的に全国和牛登録協会と連携しながら現場後代研究会を開催します。また、県畜産共進会枝肉部門等において、脂肪の質向上のために肥育農家の出品牛のMUF Aやオレイン酸等を検証して肥育農家の技術を研鑽させる取り組みを行います。

また、肥育先進地に赴き技術やPRなどの組織活動等を確認し、県内で取組めるように検討いたします。

9. 沖縄県肉用牛ゲノム活用委託事業（沖縄県）（新規）

沖縄県における基本・本原登録時の雌牛のゲノム解析を網羅的に実施し、その情報を基に交配・改良指導を行い牛群改良の促進を図り、併せて繁殖性、食味性や抗病性等を確認し、次世代の種雄牛の造成に寄与します。

10. 沖縄県ゲノム訓練群活用委託事業（沖縄県）（新規）

沖縄県下の食肉センターにおいて肉片を採取し、将来的に県内でゲノム解析ができるような体制を構築するために訓練群（遺伝情報と枝肉成績を照合させたデータ）の蓄積に取り組みます。

11. 沖縄県優良繁殖雌牛ET活用事業（沖縄県）（新規）

和牛改良組合を中心に肉用牛の増頭改良の推進及びブランドの確立を図るためET技術を活用し、各地域において優良雌牛のさらなる増頭を推進し、改良スピードの向上を目的として取り組みます。

12. 高収益肉用山羊生産拡大事業（沖縄県）（新規）

山羊の近郊退化の改善ため海外より優良種山羊を導入して、近郊緩和を図り農家において収益性の高い儲かる山羊を作出することを目的として令和8年度より標記事業が沖縄県により開始されます。その事業の中で優良山羊の増頭や普及活動のため山羊共進会を開催する予定で、事務局を本会に置いて取り組みます。

13. 地域・畜産振興スタートアップ支援事業（沖縄県畜産振興公社）

沖縄県肉用牛振興のため、県種雄牛の特色と特性を普及することで生産者に対し、現場検定種雄牛精液の利用促進を図り、市場にいち早く出品させることで、県内外に対しPRを行います。また、授精システムのタブレットデータを活用し、スピード感を持って種雄牛別使用状況やセリ価格との分析かつ死亡子牛等の分析を行い県種雄牛の生産振興に資することを目的として取り組みます。

14. 和牛信頼確保対策事業（全国和牛登録協会）

沖縄県下において和牛の遺伝資源を保護及び登録事業の公正な運営を確保するため、全国和牛登録協会と連携しながら遺伝子型検査による親子判定のモニタリング調査を行います。

15. 石垣市優良肥育素牛育成補助事業（石垣市）

石垣市からの委託事業で、石垣牛の維持拡大を図るため、島内肥育一貫経営農家の自家生産子牛のうち、島内出荷を前提に肥育された子牛に対し、測定及び審査を行い優良肥育素牛として認定し、石垣牛ブランド力向上に取り組みます。